

TOYO TIRES
driven to perform

第101期中間期 株主通信

2016年1月1日～2016年6月30日

GO BEYOND

～いまを超えていく～

東洋ゴム工業株式会社



代表取締役社長

清水隆史

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに第101期中間期(2016年1月1日から2016年6月30日)の業績の概況などにつきまして、ご報告申し上げます。

当期の経営成績

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、米国では個人消費の増加と雇用・所得の拡大などに支えられて景気の回復基調が継続しました。欧州では主要国で個人消費を中心に内需が拡大するなど景気に持ち直しの動きが見られるものの、英国のEU離脱やテロへの懸念など先行きの不透明感が増してきました。また、中国をはじめとする新興国では成長が鈍化するなど、厳しい状況が続きました。わが国では、企業収益の改善や雇用情勢の持ち直しが見られるな

ど、景気は緩やかに回復しました。

このような状況下で、当社グループは3ヶ年の中期経営計画「中計'14」の目標のもと、成長・収益市場への事業拡大、供給能力のスピーディーな増強、販売力とブランド戦略の強化、差別化技術の構築などに取り組んでいます。

当第2四半期連結累計期間においては、売上高は1,864億39百万円(前年同期比79億62百万円減、4.1%減)、営業利益は262億18百万円(前年同期比29億8百万円減、10.0%減)、経常利益は209億25百万円(前年同期比57億44百万円減、21.5%減)となりました。

また、免震ゴム問題と防振ゴム問題に係る製品補償対策費及び製品補償引当金繰入額を特別損失として計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は21億51百万円(前年同期は41億56百万円の損失)となりました。

「中計'14」の進捗

2014年度に「GO BEYOND ～いまを超えていく～」というスローガンを掲げてスタートした「中計'14」は、本年度をもって最終年度を迎えます。業績面において目標としていた営業利益520億円に

CONTENTS

社長メッセージ	01	中間期連結財務ハイライト	06	会社概要	09
ご報告	03	中期経営計画「中計'14」の進捗	07	株式の状況	10
事業別概況(中間期)	05	TOPIC・株主優待のご案内	08		

社是

昨日より今日は より良くより安く
需要者の為に 各自の職場で最善を

企業理念

独自の技術を核として新たな価値を創造し、
人と社会に求められる企業であり続ける

通期連結業績予想の修正

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (2016年5月13日発表)	405,000	52,000	45,500	24,000	188.98
今回修正予想 (2016年8月10日発表)	395,000	52,000	45,500	18,000	141.74
増減額	△10,000	0	0	△6,000	—
増減率	△2.5%	—%	—%	△25.0%	—

については、前期に一年前倒しで達成することができました。

タイヤ事業におきましては、戦略商品として注力してきたSUV／ピックアップトラック用タイヤの販売が欧州市場や国内外の新車向けビジネスでも拡大するなど、「中計'14」に掲げた取り組みが着実に実を結んできました。特に、需要が拡大する北米市場では、需給ギャップ解消に向けて進めてきた現地の製造子会社Toyo Tire North America Manufacturing Inc.の生産能力増強を本年末に完了させ、より強固な事業基盤を確立する予定です。

一方、ダイバーテック事業では、自動車部品・ウレタン・鉄道車両部品・その他事業での選択と集中を進め、戦略的成長の展開と安定した収益構造の確立に取り組んでまいりました。

通期の業績予想

当社グループを取り巻く経営環境は、円高による国内輸出企業への影響などをはじめとして、さまざまな不安定要素に直面しています。これらの動向を踏まえ、前回(2016年5月13日)公表した予想を修正いたしました。

2016年12月期の通期連結業績につきましては、売上高3,950億円、営業利益520億円、経常利益455億円、当期純利益180億円を見込んでいます。なお、下期における為替レートは、1USD=105円、1ユーロ=115円を想定しています。

また、当期における中間配当は、1株当たり20円を実施いたします。期末配当は1株当たり25円とさせていただきます。

当社グループは、成長への基盤が整いつつある中で、「免震ゴム／防振ゴム問題」、「社内改革の断行」、「競争激化の中での本業の維持拡大」といった大きな課題に直面し、株主の皆様には多大なるご心配をお掛けしておりますが、この局面を乗り越えることで、より確かな企業力が構築できるものと信じ、全社をあげてこの対処にあたっています。現在、新たな中期経営計画の策定にも着手しており、皆様からご理解とご支援をいただけるよう、当社グループの潜在力を引き出す展望を描き、あらためて、それらをお伝えしてまいります。

引き続き、社会からの信頼回復に向けて、再発防止策の徹底と会社の変革に取り組みながら、企業価値の向上に努めてまいりますので、より一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

信頼回復に向けて

〈再発防止策の進捗〉

再発防止策の概要

当社は、度重なった問題の総括と反省をふまえ、外部機関の支援も採り入れながら、「一連の問題に対する再発防止策」を策定し、2015年12月25日にこれを公表しました。

事業基盤の総点検と再整備を主眼として優先的に行う「緊急対策」、経営基盤の再構築と確立に向けて長期的視野を持って行う「徹底対策」、いずれの施策についても推進部門を明確にし、全体の進捗管理を徹底しながら責任を持って遂行しています。また、四半期ごとにホームページで進捗状況を開示しています。

一連の問題に対する再発防止策

(1) 緊急対策－事業基盤の総点検と再整備

① 全事業にわたる再監査の実施

- (i) JMAC(株)日本能率協会コンサルティング)による
当社監査の検証
- (ii) 再監査の実施

② CI(東洋ゴム化工品(株))明石工場の抜本的改革

- (i) 業務の明確化および業務工程全体の抜本的改革
- (ii) 検査成績書に関する不正行為を直接的に防止するための対策
- (iii) 検査成績書の不正行為を制度的に防止するための対策
- (iv) 技術および業務知識の引継体制の整備・強化
- (v) コミュニケーションの活発化

③ 品質保証・管理体制の再構築

- (i) 品質保証体制の組織面での強化
- (ii) 品質保証システムの見直しによる管理強化

(2) 徹底対策－経営基盤の再構築と確立

① コンプライアンスおよびガバナンスの強化徹底

- (i) コンプライアンスの啓発強化および推進
- (ii) リスクを意識した内部統制の強化

② 不正行為の早期探知、危機管理体制の確立

- (i) 危機管理体制の整備
- (ii) コンプライアンスおよびガバナンスの再構築プロジェクト

③ 社員教育の再徹底と企業風土の抜本的改革

進捗の状況 (2016年6月30日現在)

緊急対策としては、「全事業にわたる再監査の実施」、「CI(東洋ゴム化工品(株)明石工場の抜本的改革)」、「品質保証・管理体制の再構築」に取り組んでいます。明石工場をはじめとする国内外拠点の再監査や品質保証組織の再編と人員増強、品質保証システムの見直し・改善などについては、計画通り進捗しています。

また、徹底対策としては、「コンプライアンスおよびガバナンスの強化徹底」、「不正行為の早期探知、危機管理体制の確立」、「社員教育の再徹底と企業風土の抜本的改革」に取り組んでいます。コンプライアンス、内部統制、コーポレート・ガバナンスを継続的に強化するため、関連する組織や規定類の整備と運用確立、理念のあり方検討などを推進しています。

〈問題への対応〉

免震ゴムの交換・改修工事の進捗状況 (2016年6月30日現在)

- ・55棟(2015年3月13日公表分)については、19棟で着工し、うち13棟が製品交換を完了しました。
- ・99棟(2015年4月21日公表分)については、5棟で着工し、製品交換を完了しました。

防振ゴムのお客様への対応状況

- ・2015年末の問題総括を経て、関係者様へ内容をご理解いただけるように訪問説明を行いました。
- ・代替品の提供・点検・交換等に関しては、お客様と協議・相談の上、お客様のご意向を最優先に対応を進めています。

最新の情報につきましては、ホームページをご参照ください。

免震ゴム／防振ゴム問題への対応について

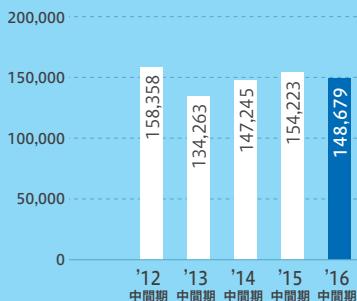
<http://www.toyo-rubber.co.jp/special/menshin/>

タイヤ事業

TIRE BUSINESS



タイヤ事業
売上高(百万円)



タイヤ事業の売上高は1,486億79百万円(前年同期比55億43百万円減、3.6%減)となり、営業利益は243億52百万円(前年同期比22億63百万円減、8.5%減)となりました。

▶ 新車用タイヤ

国内自動車生産の低迷が続く中、当社品装着車種の販売が好調に推移したことなどにより、国内販売は、販売量、売上高ともに前年同期を上回りました。また、海外市場においても、新規ビジネスの獲得により、販売量、売上高ともに前年同期を上回りました。この結果、販売量、売上高ともに前年同期を上回りました。

▶ 国内市販用タイヤ

国内市場においては、原材料価格下落による販売価格の下落が続く中、ミドルクラスミニバンをターゲットとしたミニバン専用タイヤ

「TRANPATH(トランパス)」シリーズの新商品「TRANPATH ML(エムエル)」を発売しました。また低燃費タイヤ「NANOENERGY(ナノエナジー)」シリーズのウェットグリップ性能をグレードアップした「NANOENERGY 3 PLUS(スリープラス)」の発売と、商用車用タイヤへも「NANOENERGY」シリーズを拡充したことにより販売も好調に推移し、販売量は前年同期を上回りましたが、売上高は前年同期並みとなりました。

▶ 海外市販用タイヤ

海外市販用タイヤは、北米市場における米国の販売数量は前年を上回り、欧州市場も販売を大きく伸ばしたことにより、トータルの販売量は前年を上回りましたが、為替の円高影響により、売上高は前年同期を下回りました。

ダイバーテック事業

DIVER TECH BUSINESS



ダイバーテック事業
売上高(百万円)



ダイバーテック事業の売上高は377億27百万円(前年同期比22億73百万円減、5.7%減)となり、営業利益は14億31百万円(前年同期比3億33百万円減、18.9%減)となりました。

▶ 輸送機器分野

自動車用防振ゴム及び自動車用シートクッションでは、自動車メーカーの操業停止などにより国内自動車生産台数が減少した影響はあったものの、自動車用シートクッションの新規受注品が好調に推移したため、全体の売上高は前年同期並みとなりました。鉄道車両用空気バネ及び鉄道車両用防振ゴムでは、海外新車市場及び海外補修市場向けへの販売は好調でしたが、国内補修市場向けへの販売が低迷したため、売上高は前年同期を下回りました。

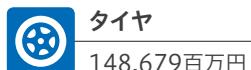
▶ 断熱・防水資材分野

断熱資材分野については、建材メーカー向け硬質ウレタン原液の販売が低迷したことに加え、農畜舎向け資材において大型物件の販売が低調だったため、売上高は前年同期を下回りました。防水資材分野においても主力のゴムシート防水材の需要低迷により、売上高は前年同期を下回りました。

▶ 産業・建築資材分野

産業・建築資材分野については、産業用ゴム引布を中心に販売が好調でしたが、道路資材において公共事業での受注が低迷したため、売上高は前年同期を下回りました。

事業別売上高比率



79.8%

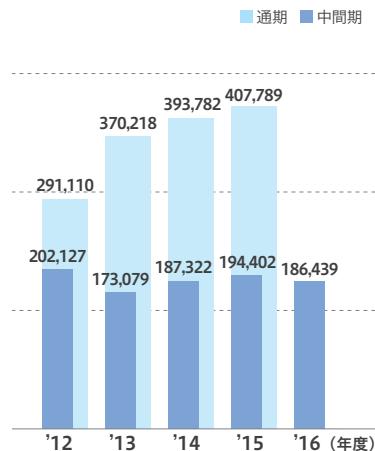


20.2%

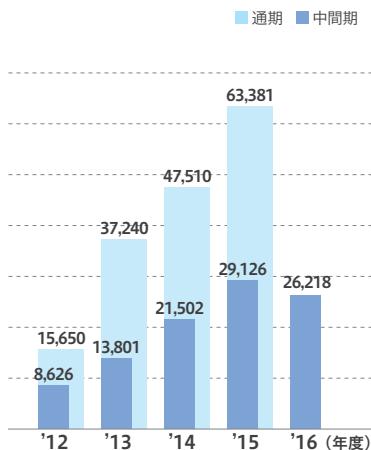


※ 売上高の合計には、その他事業の売上高及び調整額が含まれています。

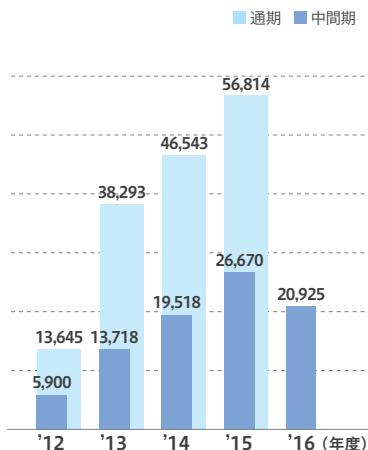
連結売上高 (百万円)



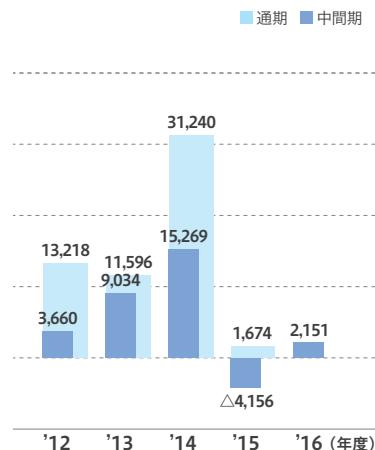
連結営業利益 (百万円)



連結経常利益 (百万円)



連結純利益 (百万円)



(注) 2012年12月期は決算期変更の経過期間であったことから、前第2四半期連結累計期間については、国内の連結対象会社は6ヶ月間(2012年4月1日～2012年9月30日)、海外の連結対象会社は9ヶ月間(2012年1月1日～2012年9月30日)を連結対象期間とした変則的な決算となっております。

GO BEYOND

～いまを超えていく～

2014年度を起点に取り組んできた中期経営計画「中計'14」は、売上高を除くすべての数値目標を1年前倒しで達成することができました。市場競争の激化や為替の動向など、厳しい経営環境下にはありますが、引き続き最終年度である2016年度の目標達成に邁進してまいります。

「中計'14」
2016年度目標

売上高 4,700億円 営業利益 520億円 営業利益率 11.1% ROA(総資産営業利益率)10%以上

2016年度
予想

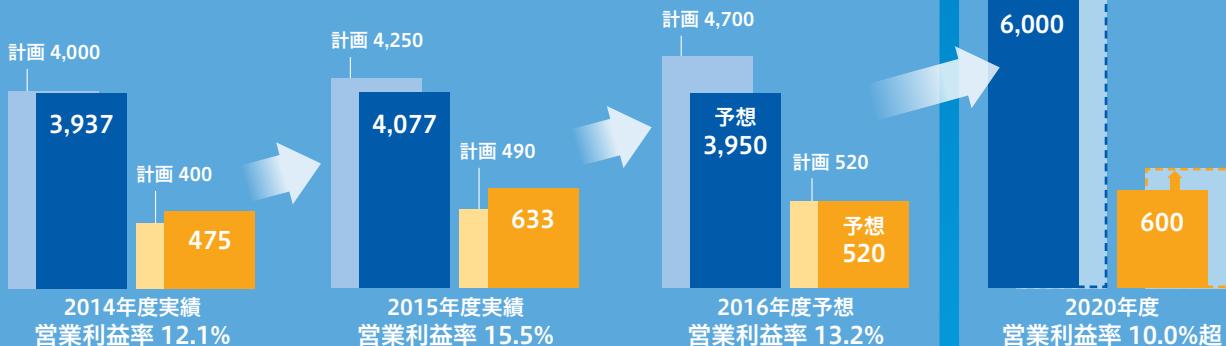
売上高 3,950億円 営業利益 520億円 営業利益率 13.2%

<..... 中長期経営計画>

中計'14(2014~2016)

ビジョン'20

■ 売上高(億円) ■ 営業利益(億円)



営業利益率10%超を確保し、さらなる事業拡大を目指す



タイヤ事業

米国工場の追加増強に着手 —当社最大のタイヤ生産工場へ

当社は、北米市場におけるタイヤ需要の増大に対応するため、2013年12月よりタイヤ製造子会社Toyo Tire North America Manufacturing Inc.(米国ジョージア州：以下TNA)の第4期生産能力増強に取り組んできました。工場建屋を約1.5倍に拡張し、新建屋の半分に生産設備を導入するというもので、昨年4月に予定より4ヶ月前倒して生産を開始、12月には計画していた設備導入も全て完了して、年産900万本(※乗用車用タイヤ換算)の供給体制が整いました。

今後も安定した成長が期待できる北米市場において、さらなる事業基盤強化を図るため、新建屋の残り半分への設備導入を決定し、本年1月に生産能力の追加増強に着手しました。

これにより本年末をめどに、TNAはタイヤ生産能力が年産1,150万本体制となり、当社最大のタイヤ生産工場となります。また、従業員数も1,500名体制を予定しており、雇用面での貢献も果たしていきます。



建屋面積が操業当初(2005年)の約2.5倍まで拡張されたTNA



株主優待制度 をご活用ください

対象となる株主様

毎年12月末日現在の当社株主名簿に記載または記録されている当社株式1単元(100株)以上を保有されている株主様。

応募カードおよび専用封筒の発送時期

毎年3月末に発送します。

商品券として
使えるクオ・カード
をお届け!

株主優待の概要

トーヨータイヤまたはニットータイヤをご購入いただいた方に、下記条件に応じてクオ・カードを贈呈します。



サイズに関わらず1本から3本、お買い上げの場合	1,000円
15インチ以下かつ4本以上、お買い上げの場合	2,000円
16インチ以上かつ4本以上、お買い上げの場合	3,000円

応募カード*

レシートまたは領収書

(トーヨータイヤまたは
ニットータイヤ)

※ 毎期末の株主
通信に同封

専用封筒*



■ 概要 (2016年6月30日現在)

商号 (英文表示)	東洋ゴム工業株式会社 Toyo Tire & Rubber Co., Ltd.
設立	1945年8月1日
資本金	30,484,627,991円
従業員数	11,513名(連結)
本社	〒550-8661 大阪市西区江戸堀1丁目17番18号 TEL: (06)6441-8801
工場	仙台工場/桑名工場/兵庫事業所
製品販売品目	タイヤ事業 各種タイヤ(乗用車用、トラック・バス用、建設機械用、産業車両用)、その他関連製品 ダイバーテック事業 輸送機器、断熱・防水資材、産業・建築資材、その他資材

■ 主な関係会社 (2016年6月30日現在)

タイヤ事業

国内	(株)トーヨータイヤジャパン 福島ゴム(株) 桑名サービス(株)	ニットージャパン(株) オリエント工機(株)	トーヨータイヤ物流(株) 仙台サービス(株)
海外	Toyo Tire Holdings of Americas Inc. Toyo Tire U.S.A. Corp. Nitto Tire U.S.A. Inc. Toyo Tire North America OE Sales LLC Toyo Tire North America Manufacturing Inc. Toyo Tire Mexico LLC Toyo Tire Canada Inc. Nitto Tire Canada Inc. NT Mexico S. de R.L. de C.V. Toyo Tire Europe GmbH Toyo Tire Deutschland GmbH Toyo Tyre (UK) Ltd.	Toyo Tire Benelux B.V. Toyo Tire Italia S.p.A. TOYO TIRE RUS LLC Toyo Tyre and Rubber Australia Ltd. 通伊欧輪胎(上海)貿易有限公司 通伊欧輪胎張家港有限公司 通伊欧輪胎(諸城)有限公司 Silverstone Berhad Toyo Tyre Malaysia Sdn Bhd TOYO TYRE SALES AND MARKETING MALAYSIA SDN.BHD. Toyo Tire (Thailand) Co., Ltd.	

ダイバーテック事業

国内	福島ゴム(株) 東洋精機(株) トーヨー・アドバンス・テクノロジー(株)	東洋ソフラン(株) 東洋ゴム化工品(株) (株)エフ・シー・シー	綾部トーヨーゴム(株) (株)ソフランウイズ
海外	Toyo Automotive Parts (USA), Inc. Toyo Tire North America OE Sales LLC TMM (USA), Inc. TOYO AUTOMOTIVE PARTS DE MEXICO, S.A. DE C.V. Toyo Tyre and Rubber Australia Ltd.	東洋橡塑(広州)有限公司 東洋護謨化工(香港)有限公司 無錫東洋美峰橡膠製品製造有限公司 TOYO RUBBER CHEMICAL PRODUCTS (THAILAND) LIMITED TOYO SOFLAN WIZ (THAILAND) CO., LTD.	

■ 役員 (2016年7月1日現在)

取締役及び監査役

代表取締役	清水隆史
取締役	小野浩一
取締役	石野政治
取締役	多田羅哲夫
取締役	苗村博子
取締役	森田研
取締役	武田厚
常勤監査役	平野章夫
常勤監査役	中原全生
常勤監査役	山本幸男
監査役	佐伯照道

■は社外役員を示しています。

執行役員

社長	清水隆史*
常務執行役員	小野浩一*
常務執行役員	石野政治*
常務執行役員	多田羅哲夫*
常務執行役員	水谷友重
常務執行役員	高木康史
常務執行役員	櫻本保
執行役員	川田道弘
執行役員	田辺伸二
執行役員	上田健一
執行役員	本母利彦
執行役員	瀧脇將雄
執行役員	小川格
執行役員	大野幾雄
執行役員	植松秀文
執行役員	鈴木伊織
執行役員	金井昌之
執行役員	篠崎幸男
執行役員	光畑達雄
執行役員	高橋英明

*は取締役との兼務を示しています。

株式の状況 (2016年6月30日現在)

1 株主数 11,808名

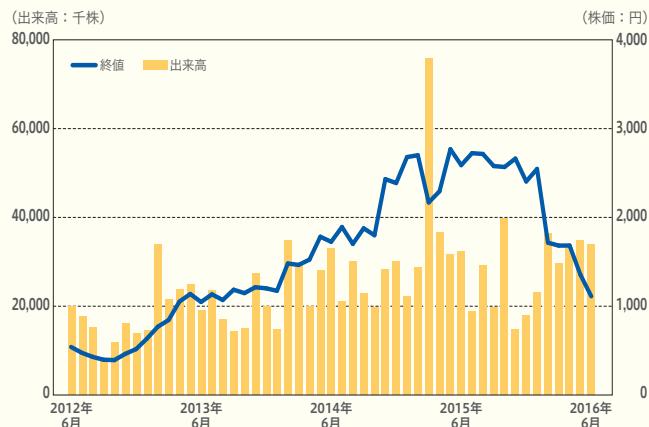
2 発行済株式総数 127,179,073株

3 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社ブリヂストン	10,000	7.87
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,474	5.09
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,356	5.00
トヨタ自動車株式会社	4,774	3.75
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE IEDU UCITS CLIENTS NON LENDING 15 PCT TREATY ACCOUNT	4,218	3.32
三菱商事株式会社	3,890	3.06
CREDIT SUISSE SECURITIES (EUROPE) LIMITED PB OMNIBUS CLIENT ACCOUNT	3,757	2.95
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,823	2.22
THE BANK OF NEWYORK 133522	2,567	2.02
上田八木短資株式会社	2,213	1.74

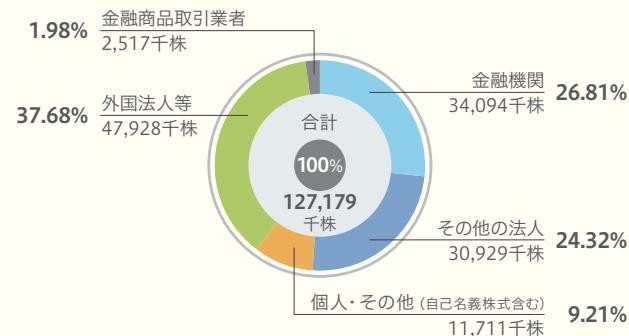
(注) 持株比率は、自己名義株式(181,788株)を控除して計算しています。

4 株価の推移(東京証券取引所)

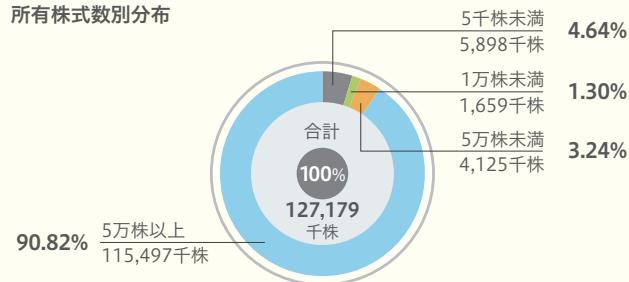


(注) 2014年7月1日をもって株式併合(2株→1株)を実施しています。
株価及び出来高は、併合の効力を踏まえて表示しています。

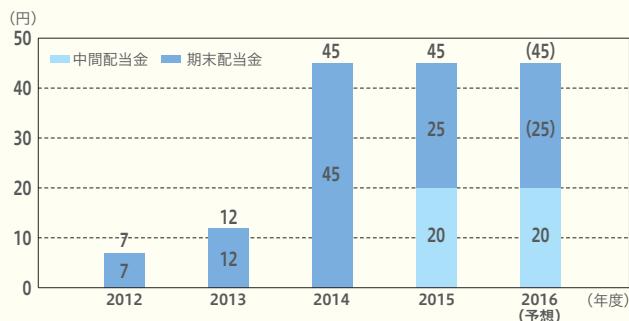
所有者別株式分布



所有株式数別分布



一株当たり配当金の推移



(注1) 2014年12月期は、2014年7月1日を効力発生日として、当社普通株式2株を1株の割合で併合いたしましたので、株式併合の割合に応じて、1株当たり配当金額を修正しております。

(注2) 2015年12月期より、中間配当を実施しました。

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から同年12月31日まで

配当基準日 12月31日(中間配当を行う場合は6月30日)

定時株主総会 毎年3月

単元株式数 100株

**株主名簿管理人
特別口座管理機関** 三菱UFJ信託銀行株式会社

公告方法 電子公告

【公告掲載URL】<http://www.toyo-rubber.co.jp/ir/information/koukoku/>

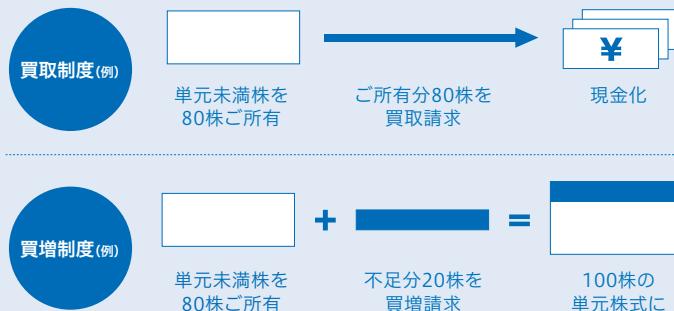
但し、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株式に関するお問い合わせ先 以下の表をご覧ください。

お問い合わせの内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none">●住所・氏名等のご変更●単元未満株式の買取・買増のご請求●配当金の受取方法のご指定●相続に関するお手続き	お取引の証券会社等 ※特別口座に記録された株式については、 下記の三菱UFJ信託銀行 大阪証券代行部にお問い合わせください。
<ul style="list-style-type: none">●特別口座から一般口座への振替手続き●未払配当金に関するご照会●その他株式事務に関するお問い合わせ	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL:0120-094-777(通話料無料)

単元未満株式の買取・買増のご請求について

単元未満(100株未満)株式をご所有の株主様は、従来の買取請求に加え、その単元未満株式の数と併せて1単元(100株)となる数の株式を当社に対して買増請求していただくことができます。



東洋ゴム工業株式会社

本社 〒550-8661 大阪市西区江戸堀1-17-18
ホームページアドレス <http://www.toyo-rubber.co.jp/>

UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。